

おうみはちまん 議会だより

2024
(令和6年)

第58号

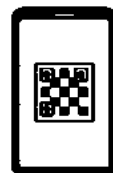
2月1日発行



【県立八幡工業高校電気科による
金田コミュニティセンターのイルミネーション】

今号の主な内容

- 2～3 ◆特集 議会の役割について
- 4～13 ◆12月定例会の概要・日程・個人質問
- 14～18 ◆委員会審査報告・委員会活動報告
- 19 ◆夫婦都市交流事業・議員紹介・編集後記
- 20 ◆提出議案と議決結果一覧・お知らせ



二次元バーコード（個人
質問ページ）で本会議で
の質問の様子をご覧いた
だけます

◆東近江行政組合ってどんなところ??

東近江行政組合

近江八幡消防署



【東近江行政組合議会議員】

※近江八幡市議会選出議員

- ・間宮 泰樹
- ・久郷 定彦
- ・青木 勝治
- ・沖 茂樹（監査委員）
- ・小西 はげむ（代表）



東近江行政組合は、近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町、愛荘町の2市3町で組織する一部事務組合です。

一部事務組合は、地方自治法第284条に基づいて設置する特別地方公共団体で、単独の市町で事業を行うよりも複数の市町が共同で処理した方が効果的なものを共同実施する目的で設置されています。

東近江行政組合は、消防業務については、上記の2市3町で運営し、休日急患診療所の運営のほか、観光振興等の地域振興業務については、愛荘町を除く2市2町で実施されています。



☆水槽付消防ポンプ自動車☆

この車両の役割は、火災現場到着後、直ちに積載された水を放水して消火活動にあたります。積載されている水が無くなる前に他の水利を確保しながら途切れることなく消火活動を行うことができます。

☆高規格救急自動車☆

傷病者を医療機関まで迅速かつ安全に搬送するための車両です。半自動除細動器、気道確保・輸液用資機材等の高度な救命措置を行う機材を積載しています。



☆消防救急艇「はるかぜ」☆

沖島の住民から救急出動要請があった場合、救急搬送艇を運行して島の患者を港まで運び、待機する救急車に引き継ぎ医療機関へ搬送します。（定員12人）

☆近江八幡休日急患診療所☆

休日や土・日曜日に急病で困った時、ケガをした時、身体の調子がおかしいな、という方のために受診いただく休日急患診療所を開設しています。



特集 議会の役割について

市議会は議案を審議し、市政が適正に行われているかをチェックする役割も担っています。市議会は、定例会と臨時議会が開催されますが、会期中以外でも委員会などを開催して、調査・研究活動を行っています。このような活動によって、住民の意見や要望が市政に反映されています。

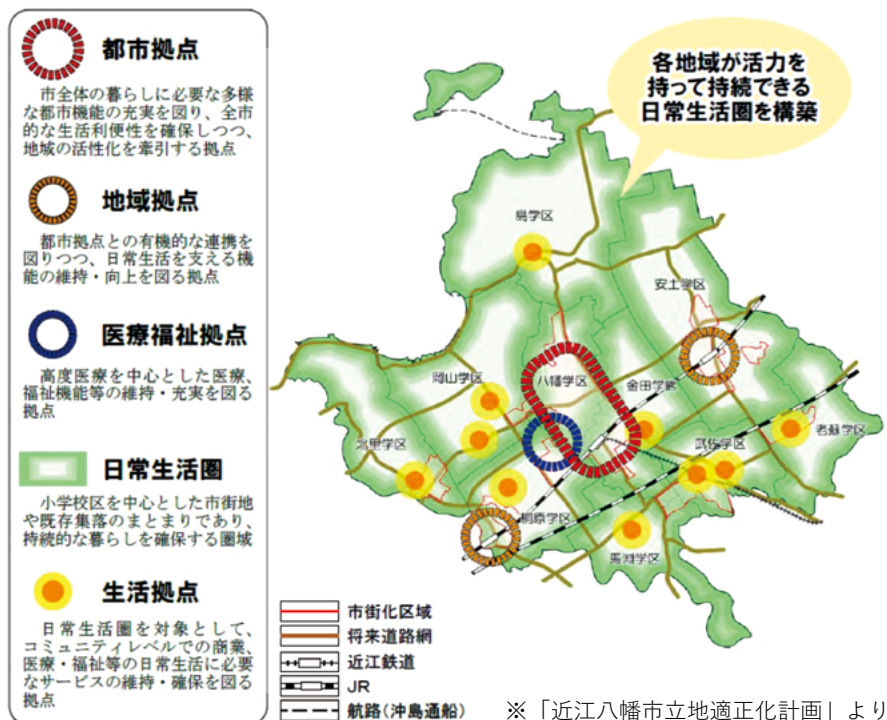
また、市議会は各種行政機関等とも関わりがあり、今回は、組合議員でもある「東近江行政組合」と、委員として参加している「都市計画審議会」について紹介します。

◆近江八幡市都市計画審議会って何をするところ??

都市計画法第77条の2第1項に基づき設置される機関であり、「都市計画」に関する事項の調査・審議を行っています。

「都市計画」とは、都市の将来像を決めるものであり、かつ土地等の関係者の権利や利害をはじめ、市民生活に大きな影響を及ぼします。このため、計画を決める前に第三者からなる都市計画審議会を経て都市計画を定めることとなっています。(都市計画法第19条第1項)

近江八幡市が目標とする都市構造



【都市計画審議会委員】

※近江八幡市議会選出委員

- ・南 祐輔
- ・山元 聡子
- ・森原 陽子
- ・小川 広司

～まちづくりに大切なこと～

「まちには、多くの人が集まり、生活をしています。

もし、それぞれ自由気ままに土地を使ったり、建物を建てるとどうなるでしょうか。

多くの人が気持ちよく暮らすためには、土地の使い方や建物の建て方にルールが必要です。

また、道路や公園など生活に必要な施設を整備することや、川や森などの自然を残していくことも重要です。」

12月定例会の概要

令和5年第4回（12月）市議会定例会を11月29日から12月21日までの23日間の会期で開きました。

11月29日の開会日には、「令和4年度近江八幡市一般会計決算の認定を求める議案」について、決算特別委員会の審査報告があり、採決の結果、原案を認定しました。

諸般の報告として、議長報告のほか、監査報告及び市長報告の後、市長提出議案として「令和5年度近江八幡市一般会計補正予算（第6号）」の他、合計21議案が上程されました。上程された議案のうち、議第115号の他、合計5議案が各常任委員会に付託され、委員会での審査後、本会議を再開し、委員会審査報告のあと、即日採決し、可決しました。

その後、議案熟読の期間を経て再開された12月8日には、市長提出議案として、「近江八幡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について」の条例議案1件、議員提出議案として、意見書1件が上程されました。同日12月8日から土日を挟んで3日間で個人質問を行い、18名の議員が議案質疑や市政全般に対する質問を行いました。

上程された議案および意見書は、予算・総務・教育厚生・産業建設の各常任委員会に付託され、後日開催した各常任委員会でも当局から議案に対する詳細な説明を求め審査を行いました。

21日の閉会日には、各常任委員会の審査報告の後、討論、採決を行った結果、本定例会に当局から提案された議案については、全ての議案を可決しました。

なお、議員提出議案の意見書1件については、全員賛成で可決しました。

また同日、追加議案として、市長提出議案の「令和5年度近江八幡市一般会計補正予算（第7号）」予算案件1件、条例議案1件、人権擁護委員の候補者推薦等に係る人事議案3件、議員提出議案として、意見書3件が上程され、上程された議案のうち、議第131号の他、1件は、常任委員会に付託され、委員会での審査後、本会議を再開し、委員会審査報告のあと、即日採決し、可決しました。人事案件と意見書については全て同意及び可決しました。

【12月定例会の詳細日程】

11月

29日（開会）

- ・委員会審査報告
- ・討論・採決
 - ・諸般の報告
 - 議長報告、監査報告、市長報告
- ・議案の上程（提案理由説明）
- 議第109号～129号
- ・質疑
- ・委員会付託
- 議第115～117号
- 議第121号、議第123号
- ・委員会審査報告
- ・討論・採決

12月

8日

- ・議案の上程（提案理由説明）
- 議第130号
- 会第16号
- ・個人質問

- 11日・個人質問
- 12日・個人質問
 - ・質疑（8日に上程の議案）
 - ・委員会付託
- 13日・予算常任委員会
- 14日・予算常任委員会
- 15日・総務常任委員会
- 18日・教育厚生常任委員会
- 19日・産業建設常任委員会
- 21日（閉会）
 - ・委員会審査報告
 - ・討論・採決
 - ・議案の上程（提案理由説明）
 - 議第131～135号
 - 会第17～19号
 - ・質疑
 - ・委員会付託
 - ・委員会審査報告
 - ・討論・採決

個人質問



創政会

南 祐輔

歴史文化を活用した
観光振興について



問 ①本市の豊かな歴史文化をもっと観光振興に活かすべきだと考えます。その際に各所管課はどこが主導で、どのような連携をされていますか。

②中山道はハイキングコースにもなっており、その人数・属性などを把握すれば観光振興に活かせると考えますが、実態調査はされていますか。また中山道が通る馬淵学区には千僧供古墳群等多くの史跡が存在します。市の中山道に関するHPにこれらの史跡の記載も追加して頂きたいです。以上質問・要望致します。

答 総合政策部理事

①本市が有する豊かな歴史文化は、総合政策部の文化振興課と観光政策課の両課が連携して主導し、案件ごとにその他の関係課も交えながら調整を図り、文化財の保存と観光への利活用の観点を踏まえながら施策を進めています。

②中山道の街道を歴史ファンや健康志向のハイカー等が訪れられていることは認識しています。が、来訪者数等は観光入込客数情報の対象施設がないため把握できていません。また、馬淵学区には史跡も多くあり、今後、地元のご意見等もお聞きしながら、ホームページ等での情報発信を検討していきます。



【住蓮坊古墳】

「その他の質疑・質問」
①雪寒対策について

個人質問



創政会

三上 英夫

JR篠原駅周辺の
整備事業について



問 「近江八幡市都市計画マスタープラン」には、「交通結節点の機能強化を進めてきたJR篠原駅の周辺では、既存ストックの有効な活用を図る」とあり、また「日常生活に必要な機能が集積した商業地として維持・形成を図る」と書かれています。

一方、駅舎改築から8年目を迎えているJR篠原駅周辺地域では、この間特段の整備や開発が実施されていません。今後の整備やまちづくりに関して、当局の青写真があればお示ください。

答 都市整備部長

JR篠原駅周辺の市街化区域は、公共交通の結節点でもある立地から、市内でも利便性の高い場所であり、現行の近江八幡市都市計画マスタープラン及び近江八幡市立地適正化計画に、効率的な各種サービスの確保、維持を図る都市機能誘導区域と位置づけられており、都市計画

法における制度を活用しながら、それらの施設、事業者等を誘導していきます。

また一方で、市街化区域と隣接する市街化調整区域は、まちの発展を念頭に、市街化区域への編入等を検討して参りたいと考えております。



【JR篠原駅】



【周辺地域(国道477号)】

「その他の質疑・質問」
①いじめ防止の取組について
②獣害（特にイノシシ被害）対策について

個人質問



日本共産党

森原陽子

公衆浴場維持管理事業

について



問 今回、12月の補正予算で八幡第1浴場のトイレの改修費765万6千円が計上されています。

①市立八幡町第1共同浴場の今後の方向性についてお聞きします。

②2007年、近江八幡市は同和行政を終結し、残る問題は一般行政として取り組んでいくと決定されました。この方針について、確認します。

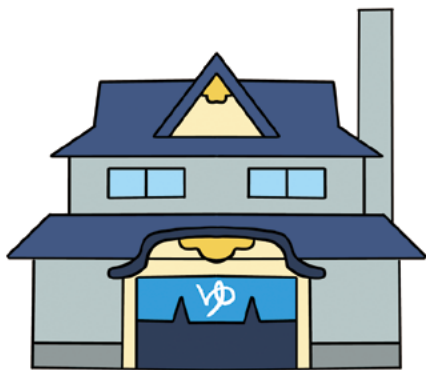
答 市民部長

当該浴場は地域住民の生活に溶け込んでおり、憩いの場であり交流の場となっています。

浴場が地域コミュニティの賑わいの核となること、地域の活性化に寄与する施設であること、災害時において被災者等に開放できる強い施設であること等、新施設の整備も含め、施設の活用についてあらゆる可能性を模索しています。

本市の同和行政は、特別対策

事業を2002年度末で終了し、さらに2007年度末に同和対策事業で建設した施設を廃止しつつ、必要な部分は一般施策として取り組んでおり、この方針は継続しています。



「その他の質疑・質問」

- ①就学前教育の在り方と預かり保育について
- ②就学前施設及び放課後児童クラブ等の評価について
- ③給食センターの改修の進捗状況と今後の見通しについて
- ④交通安全対策について

個人質問



チームはちまん

竹尾耕児

地域防災力向上にむけて



問 市の防災訓練に合わせて各学区でも避難所運営訓練が行われ、災害時の地域の防災力向上のための各学区の取り組みが進められています。

また防災フェスタなどもコミセンで開催され子連れで身近に防災を意識できる機会が増えています。身近に防災のことが話題に上ることが増えていることに、地域住民の頼もしさとともに、ご尽力に頭が下がる思いです。避難所の運営訓練についての今年度の実施状況からみた成果と課題についてお尋ねします。

答 危機管理監

今年度は、全学区において防災訓練を実施又は計画していただいております。各学区においてコミュニティセンターへの避難訓練や避難者受付等の訓練を実施していただいております。避難所開設のノウハウが構築されてきたと考えますが、避難者の役割分担による避難所運営訓練ま

では実施していただけてないのが現状かと考えています。避難所運営訓練を実施していただき、避難所運営マニュアル作成済みの学区ではマニュアルの検証や見直しを、マニュアル未作成の学区ではマニュアルの作成に着手いただけるよう、地域と共に進めたいと考えています。



- 「その他の質疑・質問」
- ①税収からみる地域の発展と経済開発について

個人質問



育政会

青木 勝治

障がい児者を取り巻く
福祉等の各種施策について



問 大項目1初問③「障害者差別解消法」に基づく対応要領を踏まえた研修等の取り組みについて

平成28年4月の「障害者差別解消法」の施行以降、行政に課せられた法的義務として、「不当な差別的取扱いの禁止」及び「合理的な配慮の提供」が規定されています。

市職員に対して、人事課や教育総務課、総合医療センター総務課において、「対応要領を踏まえた研修」や「合理的配慮の実践」などの「取組状況」について、お答えください。

答 総務部理事（教育部長、総合医療センター病院管理者）

対応要領に基づく研修として、新規採用職員に対しては、障がい者理解の研修や障がい福祉施設への体験研修を通して、知識だけでなく障がいのある方と一緒に活動することにより、実践的な部分での理解を深める良い

機会となっています。また、新任管理職に対しては、市職員人権問題啓発講座に参加し、障がい福祉に関する知識はもとより、監督者として求められる役割についても理解を深めています。

来年度以降も集合研修やオンライン研修等々、より効果的な研修方法を障がい福祉担当部署とともに検討し取り組んでまいりたいと考えています。

「その他の質疑・質問」

①「障害者週間」の期間中の取組状況、課題、今後の改善等について

②「障害者週間」以外の啓発活動の状況について

・難病患者、読書バリアフリー、コミュニケーション支援、駐車場問題
・就労支援、交通バリアウオッチング、補装具、児童発達支援センター等
2「指定管理や委託から直営に戻すことについて」

①「直営と指定管理者制度」、「直営と委託」の違い等について

・安土城跡ガイダンス施設の指定管理を直営に戻す理由等について
・東部地域包括支援センター業務委託を直営に戻す理由等について

個人質問



創政会

小西 はげむ

0次予防センター内、
診療所開設について



問 9月定例議会で提案のありました案件で、施設の2階を改修いただき、市立総合医療センターの医師を週2回程度、それぞれの午後2時間ほど診察いただけるということです。現時点での計画しか示していただけないかも知れませんが、令和6年10月開設に向け詳細な計画がわかりましたら説明願います。

答 子ども健康部長

令和6年度の予算において、改修工事の他、電子カルテ等医療機器の整備を予定していること、併せて医師、事務員等の医療スタッフの確保、医療法上の開設届など許可関係の手続きが必要なことから、開院時期については、令和6年10月となると考えております。診療体制については、現時点での予定ですが、市立総合医療センターの内科系医師での輪番制と考えており、基本どなたでも診察させていただきますが、専門性の高い



【0次予防センター】

「その他の質疑・質問」

①市政運営状況と当局からの市議会議員への情報提供・共有・公開について
②市営住宅について

個人質問



創政会

公共施設の維持管理について

大川 恒彦



問 新しいものを作る以上に、作った物をちゃんと維持出来るよう適切に管理することが重要視される昨今から、施設を適切な状況で正常に保つ為には維持管理が大変大事になってきますが、庁舎や学校など建築施設の躯体や設備等の維持、保守管理はどのようにしているのか。また、点検、維持管理をしている中で、不備、不良を発見した場合において、緊急に修繕、修復を行わなければならない場合の対応体制は、どのような形態で行われているのか、お伺いします。

答 総務部長・教育部長

庁舎や学校などの建築施設の躯体については、建築基準法に基づく法定点検を行い、各設備についても専門業者に委託し定期点検を行っています。点検により不具合を確認した場合、必要に応じて部品交換、修繕等を行っています。しかし、施設

の老朽化により緊急的な修繕が発生していることから、その都度、修繕工事などにより対応しています。修繕箇所の軽微なもの、各施設管理担当職員により修繕を行い、専門業者による修繕工事が必要な場合は、市民や児童生徒にご迷惑がからないうよう、速やかに修繕等の発注を行っています。



【市役所南別館】

「その他の質疑・質問」

- ① 自然環境の保全保護について
- ② 目前に迫る社会問題について

個人質問



凜成会

脱炭素ロードマップの取り組みについて

山元 聡子



問 国からも指針が示され、また本市においても脱炭素の取組について脱炭素推進協議会を立ち上げられています。現在の進捗状況とその推進に向けた組織体制をどのように考えられているかお尋ねします。

答 総合政策部長

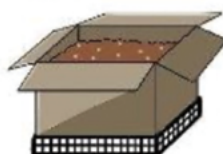
今年度「脱炭素推進協議会」を発足し、市民、事業者等と連携して、地域脱炭素の実現に向けた施策の検討、推進体制の構築に取り組んでおり、今年度末には、それらの内容を取りまとめた「脱炭素実行計画（仮称）」を策定する予定です。脱炭素ロードマップの実現には、市民や事業者など様々な主体と連携した取組が必要不可欠であることから、実行計画に基づき、組織体制の整備に取り組

むとともに行政としてできる支援策も講じながら地域脱炭素の実現に向け、一步一步、前進させていきたいと考えております。



ダンボールコンポスト

生ごみを堆肥化しませんか？



「その他の質疑・質問」

- ① 観光政策について
- ② 家計にプラス、たすカル、チケットについて

個人質問



創政会

桐原東校区について

道下直樹



問 桐原東小学校区放課後児童クラブ整備にかかる運営事業者選定委員会の審査結果と整備予定地について、また今後のスケジュールについて伺います。

答 子ども健康部長

事業者の選定につきましては、10月17日に選定委員会でプレゼンテーション等の審査を行った結果、募集要項の基準を満たし、かつ運営実績、地域の実情に応じた提案を行った、特定非営利活動法人三楽を最優秀事業者に特定しました。同法人の提案は、要項に定めた全ての基準を満たしているほか、子どもの主体的な学びを尊重する事業方針や、利用者ニーズに寄り添いサービス改善を図っている点等が評価されました。

開所の予定地は堀上町内で、令和6年4月の開所に向けて準備を進めているところです。



「その他の質疑・質問」

- ① 近江八幡駅前について
- ② こどもまんなか社会実現に向けて

個人質問



創政会

学校での障がい児者への福祉教育について

藤村健造



問 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行され、学校教育においても一人一人に応じた合理的配慮の提供が求められています。

障がいのある児童が他の児童と平等に教育を受けられるよう、障がいの状態や教育的ニーズ等を理解し合うために話し合い、何ができるか互いに考えていくことが望まれています。

本市では学校で子どもたちに障がい児者に対する理解や障がいとはどのような特性等があるのかを知ってもらうための福祉教育をどのように行っているかお聞きします。

答 教育長

学校では、学年集会や学級で特設の授業を行うことや、特別支援学校に在籍する友だちと交流する機会を設けています。また、車いすで生活されている方や盲導犬と共に生活されている方等障がいのある方や福祉事業

所との交流、車いすやアイマス、点字、手話の体験、中学校では職場体験学習の実施先として「障がい福祉施設」を取り入れる等幅広く学びの機会を作っています。その他にも、ボッチャやシッティングバレー、ゴールボール等パラリンピック種目の体験も行っており、障がいの特性等を理解し、互いに認め合い共に生きる社会の実現に向けて取り組んでいます。



「その他の質疑・質問」

- ① 在宅に暮らしている高齢の重度身体障がい者について

個人質問



政翔会

沖 茂樹

災害への備えについて



問 消防団員は非常勤特別職の地方公務員ではありますが、ボランティアの要素が強く、「自らの地域は自ら守る」という郷土愛護の精神に溢れた方々です。

しかし、団員数は減少し続けており、その確保に苦勞されていると聞いております。

行政として、消防団員確保のための取組に対する支援として、どのようなことを行っておられますか。

また、消防団活動が安全かつ効果的に行われるための装備品の充実に向けた支援は、どのような形でなっておられますか。

答 危機管理監

消防団員の確保に関しては、市の広報紙やホームページにおいて団員募集の記事掲載や、消防庁の作成する消防団員募集のポスターやリーフレットを市内各所に掲示いただく等、消防団員確保に向け取り組んでいます。また、消防団員の装備品の充



【近江八幡市消防団】

実に関しては、平成26年2月の国における「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の一部改正に基づき、本市においても、団員の活動服の更新や編み上げ靴、ヘッドライト等の安全装備品を支給しており、来年度以降はヘルメットの年次更新に取りかかる予定で考えています。

個人質問



育政会

松村 務

観音寺城・安土城・八幡山城、石垣の見える化を



問 近江八幡の三大城郭は、全国でも唯一の地域資源・観光資源です。市民グループの力で、観音寺城趾の石垣と、八幡山城跡出丸の石垣が姿を現しました。安土城跡は県により天守台部の調査が進行中です。

今後は行政が主導して、三大城郭の生茂った樹木伐採と石垣を補強しつつ、石垣の見える化を進めていただきたい。石垣という隠れた宝物を、人々の眼前に出現させることで、近江八幡の魅力度アップに繋げていただきたい。

答 総合政策部理事

市としては、これら3つの城跡は、いずれも戦国時代のわが国の城郭史を語る上で貴重な歴史遺産であると認識しており、可能な限り石垣の見える化を図ることで、より多くの市民や観光客に知っていただき、次世代に継承していくことが望ましいと考えています。

一方で、これらの城跡は、それぞれに関係者等がおられるほか、特に史跡指定を受けている場合には文化財保護行政としての制約もあるため、個々に協議、調整をしながら、石垣の見える化について検討を進めてまいりたいと考えています。



近江八幡市の歴史 第九巻より
図94 八幡山城古図（トレース図）
寛政10年に作成された絵図には本丸に一段高く天守台が描かれている。
〔日本の古城〕掲載図をもとに、滋賀県立大学教授 中井 均 作成）「かつての八幡山城」

「その他の質疑・質問」

- ① 西の湖ヨシ原の荒廃を止める手立ては
- ② 市庁舎実施設計について
- ③ 給食センター蒸気配管漏れについて

個人質問



公明党

中塚理恵

近江八幡市立総合医療センター利用について

センター利用について



問 相談者さんのお声から次の要望を申し上げます。

1. 正面入り口での送迎車両の乗降により、赤コンバスの停留の妨げになると共に車椅子利用者の乗降に危険が伴うため、車椅子利用者さんの送迎車用乗降場所の設置

2. ハートフル駐車場について

① 両端にある方向転換用スペースに駐車禁止の表示

② 道路に出る左手角にある縁石に、車が乗り上げないように対策

③ 左折の標識に気付かず右折をする車があるため、標識の拡大

④ 縁石で囲った三角スペースを平にして車が通れるように以上のご検討をお願いします。

答 総合医療センター事務長

送迎車用乗降場所の確保については、身体障がい者優先駐車場6台分、ハートフル駐車場12台分整備していますが、外来診察前の時間帯は、共に満車となり、送迎車両の乗降もあり、正面玄関前のバス停付近が混雑し

ます。警備員による誘導やハートフル駐車場利用にあたってのお願い看板の設置など対策を実施していますが、現状、車椅子利用者の送迎用乗降場所を新たに確保することは、スペース的に困難ですが、より改善に向け、引き続き検討します。

ハートフル駐車場については、以下の対応をとっていきます。

① 該当場所に白線を引くなど行います。

②・③ 運転者に対し、より効果的な注意喚起対策を行います。

④ 限られた駐車場のスペースを安全かつ有効的に利用できるよう、提案も踏まえ検討します。



「その他の質疑・質問」

① 学校での取り組みについて

個人質問



公明党

山本妙子

防災について



問 ①避難所としての役割・教育環境の向上という点から、中学校の体育館に、市の実質負担は3割という「緊急防災・減災事業債」を活用しエアコンの整備を！

②乳幼児やその保護者を対象に、ローリングストックも考慮し、液体ミルクの体験やプレママへの防災情報の周知、また学校現場において災害をイメージしやすい体験的な訓練など、シチュエーションに応じた防災訓練を！

③地震に備え、シェイクアウト訓練の導入を！

以上、ご所見をお伺いします。

答 ①②③危機管理監・②子ども健康部長

①市内全小中学校体育館へのエアコン整備には、長期的な整備計画が必要であり、整備経費やランニングコスト等必要性をはじめ財源の調査、他市町の実況等を注視しながら、関係部局と検討します。

②保健センターでは、職員対象の防災訓練を実施していますが、

お子さんや保護者にもご協力いただき、体験型避難訓練の実施や液体ミルクの活用を検討します。学校の防災学習でワンタッチパーテーション等の組立て訓練をされる場合、指導の要請をお願いします。

③自治会や事業所等への訓練実施の呼びかけ等、他自治体事例も参考に検討します。



「その他の質疑・質問」

①国の総合経済対策における本市の取組について

②脱炭素社会の実現に向けて

③高齢者の人材確保について

個人質問



政翔会

久郷 定彦

近江八幡市校庭芝生化事業
について



問 小学校の校庭芝生化には様々なメリットがあります。しかし植栽から10年を経過するのあたり、芝生の管理業務、委託金、管理機材に課題が生じております。子どもたちや地域の皆様にいつまでもきれいな芝生の上で楽しく過ごしていただくには、財源を含め計画的な管理設備の更新などの対策を講じ、本事業を小学校の長寿命化計画に詳細に明記していただきたく考えますが、本市の対応をお答え下さい。

答 教育部長

各校の芝生管理は日ごろの管理が重要であり、定期的な作業については、地域ごとの管理団体の方々の多大なご努力によって支えられています。美しく元気の芝生を維持し、子どもたちが運動しやすい環境を維持し続けるためには、長期的な視点で、計画性をもって機器や設備を更新する必要があることは承知し



ています。長寿命化計画の見直しも必要であることから、管理団体間の意見交換会を実施し、まずは各校の実情を把握するとともに、団体間で有益な情報を共有し、芝生管理の運営体制から見直していきます。

個人質問



政翔会

小川 広司

自治体のデジタル技術の
活用について



問 国は、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことが出来、多様な幸せが実現できる社会」だれ一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を示してきました。そして自治体のデジタル化を、加速度を増して進めようとしています。

本市は、今年度「書かない窓口」に取り組んでいただいています。が、本市の進めているデジタル化の現状と課題についてお聞きます。

答 総合政策部 理事

本市では、令和2年策定のICT推進方針に基づき、行政のデジタル化、DX推進に取り組んでおり、RPAや電子決裁システム等による業務のデジタル化や業務改善、オンライン申請や公共施設予約システム等により市民サービスと利便性の向上を図っています。また、各所

属にICT推進委員を設置し、デジタル技術の活用、DX推進に取り組んでいます。

一方、市民ニーズに応じたデジタル技術の活用、広報の充実、DX人材の育成が課題であり、先進事例や費用対効果、有効性等を検証しながら、効果的なデジタル化に取り組んでいます。



書かない窓口



「その他の質疑・質問」
①令和4年度黒字決算からお金の使い方について

個人質問



日本共産党

玉木弘子

不登校児童生徒の支援

について



問 不登校の対策について、県首長会議での発言をきっかけに子どもたちの生きづらさやそれを支えるフリースクールの存在が認識されることになりました。

市では、4月からフリースクール等民間施設を利用する児童生徒の保護者に補助金を交付する経済的支援を始めました。

2点について市の見解をお伺いします。

- ①事業者との協議の中で出された課題や要望について
- ②子どもの居場所であるフリースクール事業者への運営補助金などの公的支援について

答 教育長

事業者との協議で出てきた課題としては、事業所から学校に行う報告の仕方です。子どもの活動の様子について円滑に情報共有できるように報告様式を統一する等改善を図ります。要望としては、学校の教員にフリースクールでの様子を見てもらい

たいとの意見がありました。学校で教育活動をしている中で可能な限り対応するよう努めていきます。補助金の交付については、私立校や県立校の児童生徒も対象としてもらいたいとの意見があり、現在、拡充を検討しています。フリースクールへの運営補助は、児童生徒の通所が市外をまたぐ広域で行われていることから、県や他市町とも連携し考えていきます。



「その他の質疑・質問」

①安土コミュニティエリア整備事業について

②市職員の不祥事に関連して

個人質問



創政会

間宮泰樹

近江鉄道線再構築計画

について



問 近江鉄道線では、国や県の支援を受けるためには、鉄道事業再構築計画を定め、国の認定を受けなければなりません。利用者の減少から増加へと転じさせるためには鉄道事業者としての取組が重要であり、これまでの運営改善期間の取組と令和6年度からの取組について伺います。

また、令和6年度から10年間の鉄道事業再構築計画による負担割合と負担金について伺います。

答 市民部長

近江鉄道線のこれまでの取組として、アプリ乗車券や割引切符の販売、全線無料デーの開催等を実施してきました。今後は、近江鉄道線を核としたより良いまちづくりの推進のため、沿線地域及び駅周辺への企業、商業施設等の誘致、住宅開発の誘導、駅周辺のにぎわい創出につながる取組や、より安全な輸送を行

うための設備投資など長期的に取り組むべき施策についても協議及び検討を重ねているところです。また、令和6年度以降、10年間で県及び沿線5市5町が負担する金額の合計は約116億円であり、その3.81%が当市の負担額となります。



「その他の質疑・質問」

①不登校児童・生徒に対する支援について

決算特別委員会審査報告

委員長 山本 英夫

令和5年第4回（9月）定例会において、当委員会に付託された「議第80号 令和4年度近江八幡市一般会計決算の認定を求めることについて」の継続審査のため、令和5年10月10日、11日および12日の3日間、委員会を開催して、当局に決算概要の説明及び諸資料の提出を求め、慎重に審査した結果、全員賛成で原案を認定するものと決しました。

『審査過程において出されました主な意見、要望等』

◆総合政策部関係 オープンガバナンス推進事業では、興味がある人だけの偏った意見とならないためにも、年齢等属性の把握やポータルサイト上での発信以外にも広く周知を図ってはどうか、との意見。

◆総務部関係 若年層の職員の離職や休職を防止するため、職場環境の調査などの要因分析と改善が必要であり、業務遂行の目標だけでなく、職場環境づくりの目標設定が必要であるとの意見。また、働きやすい職場づくりに対して管理職の役割が求められていることから、研修の実施など丁寧な取組の継続を求

める意見。

◆市民部関係 市民への情報提供の手法について、時代の流れから、確実な受信を担保するために、タウンメール以外のラインなど様々な媒体の活用についても検討してはどうか、との意見。

◆福祉保険部関係 障がい者施設の整備について、実態に即した予算として、国に増額を求めるとともに、市独自施策による支援が必要であるとの意見。また、避難行動要支援者に対する個別避難計画作成に関しては、地域格差が生じていることから

も引き続き制度の周知と作成支援の取組の充実を図ってほしいとの意見。

◆子ども健康部関係 お誕生お祝い金の支給について、目的を少子化対策とするならば、効果や手法などの整理が必要であり、共働き家庭等が子育てしやすい環境整備などについて充てるべき、との意見。

◆安土町総合支所関係 安土未來づくりアイデアブックについて、行政としての意思や関わりをより強め、着実な事業実施を求める意見。また、安土福祉自動車について、今後の事業継続の有無にかかる決断の期限が迫る中、検証により市民部の互助

輸送に関する事業等との連携も含め、早急に答えを出して取り組むべき、との意見。

◆教育委員会関係 健康ふれあい公園の利用率向上について、交通の不便さの解消などの改善策として市民循環バスの配置等抜本的な課題解決に向けた対策が必要であるとの意見。

委員会の審査を踏まえ、当局に対して、各委員からの指摘や意見については、今後の予算編成および予算執行において十分反映いただくよう要望しました。

予算常任委員会審査報告

委員長 山本 妙子

12月13日、14日開催の委員会においては、『議第110号 令和5年度近江八幡市一般会計補正予算（第6号）』を審査し、採決の結果、賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

『審査過程における主な意見』

◆反対討論

「同報系防災行政無線システム導入事業について、旧安土町地域に整備されている防災行政無線システムを拡充することには賛成であり、本来は全世帯に設置するべきであると考えるが、必要経費に対して申込台数が少ないことや視覚・聴覚障がい者

等への周知が不十分であること、自己負担額が高額なことなどから、予算の使い方に疑問があり反対とする。」との意見。

◆その他の意見

「文化会館改修

事業について、令和2年度から長寿命化計画により順次改修をされ、必要なコストとして認識はしているものの、この間の改修費用総額は高額となっており、施設の改修はもとより、課題としている稼働率を高め、市民の有効活用のために一層取り組むことが重要である。また、今後も、利用者の快適性やバリアフリー等の観点からも大ホールの座席数を減らすなどの検討を継続し、引き続きしっかりと運営・経営をしていただきたい。」、「修繕料等の流用による予算の執行に関しては、市民への影響がある緊急的な対応を要するものはやむを得ないが、それ以外の対応と考えられるものも見受けられるため、改めて予算の適正な管理と執行に努められたい。」、「会計年度任用職員事業に見られた多くの他の所属の事業に及ぶ予算の組み替えなどについては、今後、一覧表などを



作成し説明をしていただくより分かりやすい。」などの意見。
12月21日開催の委員会においては、「議第131号 令和5年度近江八幡市一般会計補正予算（第7号）」を審査し、採決の結果、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

総務常任委員会審査報告

委員長 沖 茂樹

総務常任委員会は、12月定例会で付託された議案について、11月29日及び12月15日に委員会の開催を行い当局に対し詳細な説明を求め、議案質疑等を行い審査しました。

○11月29日

条例議案について、議第115号、議第116号の2件は全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。議第121号は、賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

○12月15日

専決処分議案1件、予算議案1件、予算議案1件、その他議案2件について慎重な審査を行い、いずれの議案も全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

『審査過程における主な意見』

議第109号については、「安

土福祉自動車の交通事故に係る全ての示談完了後の報告とされ、議会への報告は事故発生時から半年以上経過することとなった。今回の事故は市民が同乗中に発生したことでもあり、まずは、事故発生時に、事故の経緯や要因、また防止策等について、丁寧に議会へ報告をすべきであった。今後はこのような案件に関わらず、的確な判断と対応のもと、速やかに議会へ報告をされたい。」との意見。



教育厚生常任委員会審査報告

委員長 道下 直樹

教育厚生常任委員会は、12月定例会において付託された諸案件を審査するため、11月29日及び12月18日に委員会の開催を行い、当局に対し詳細な説明を求め、また、意見書については提出議員に対し概要説明を求め、議案質疑等を行い審査しました。

○11月29日

条例議案について、議第117号は全員賛成で原案を可



決すべきものと決しました。

○12月18日

予算関連議案について、議第111号、議第112号、の2件は全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。条例議案について、議第114号は賛成多数で、議第118号、議第122号、議第130号は全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。その他議案について、議第126号は全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

また、意見書の会第16号は全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

『審査における主な意見』

議第114号について、「デジタル関連法案には情報漏洩やプライバシーの侵害等の恐れがあり、また、現在の健康保険証の利用を希望する声もあり、元の法案に対して推進する立場でないため反対する。」また、「国の通知から条例改正を行うのは早急にするべきである。」との意見。

産業建設常任委員会審査報告

委員長 南 祐輔

産業建設常任委員会は、12月定例会で付託された諸案件を審査するため、11月29日及び12月

19日に委員会の開催を行い、当局に対し詳細な説明を求め、議案質疑等を行い審査しました。

○11月29日

議第123号財産を取得することにつき議決を求めることについて、市消防団に配備する消防ポンプ車を取得するにあたり、一般競争入札で取得金額等が確定したものです。今年度から市内10分団の消防ポンプ車を順次10年間をかけて更新する計画で、今回のものは馬淵分団に配備されます。契約等に関し、慎重な審査を行い、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

○12月19日

条例改正議案1件、その他議案3件の計4件について、当局に詳細な説明を求め、議案質疑等を行い審査しました。そのうちの議第129号は、市勤労者福祉センターの指定管理について、施設の老朽化や今後の活用方法を検証検討するため、公の施設の指定管理者の指定期間を1年間延長したいとの説明がありました。採決の結果、いずれの議案も全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。



市庁舎整備等特別委員会 委員長 小川 広司

庁舎建設について調査、研究を行うため、11月13日（月）に守山市役所新庁舎の行政視察を行いました。守山市役所新庁舎は、『「わ」で輝く、全ての市民にやさしい 安全・安心な庁舎』を基本理念とし、鉄骨造（一部耐震壁にCLTを採用）地上4階建てで建築され、『つなぐ、守の舎』として令和5年8月に開庁しました。

視察では、新庁舎建設までの経過を含む建設概要等の詳細な説明を受け、実際に議会フロアをはじめ、1階フロアを見学させていただきました。庁舎の内壁等に県内産びわこ材を使用し全体的に木の温もりが感じられるデザインでした。

委員からは、機能面や設備等の特徴や課題等など、様々な質疑がなされました。

説明では、新庁舎運用上の主に議場における課題箇所など、実際に使って気づいた率直な感想を聞くことができました。

今回の行政視察を生かし、本市にとってよりよい庁舎となるよう、今後もさらなる調査・検討を重ねていきます。



総務常任委員会 活動報告（行政視察 令和5年11月7日～11月8日）

<調査項目>

総務省 「地域コミュニティに関する研究会報告書について」
栃木県宇都宮市 「自治会加入促進・活性化に向けた取組について」

総務省では、自治会などの地域コミュニティが地域社会の変化するニーズに対応できるようになるための方策について検討を行う「地域コミュニティに関する研究会」が令和4年4月に取りまとめた報告書の内容について、担当部署の自治行政局市町村課の職員を講師に研修を行いました。

地域コミュニティに関する研究会の報告書に対する質疑の後、全国の特徴的な取組事例等の様々な情報提供を受け、活発な意見交換を行いました。

複数の自治会や各種団体で構成された地域運営組織が法人格を取得し、移動スーパーや移動支援事業を実施している事例や地域課題に対応するための地域活動のデジタル化が各地で進められ、電子回覧板アプリや防犯パトロール支援アプリを導入している自治体の事例、自治会役員の負担軽減に関しては行政情報の周知業務に係るアプリの活用等の意見が出されました。

宇都宮市では、自治会加入のための様々な取組、自治会役員の負担軽減策、また自治会加入者に、自治会に入っていて良かったと思わせる取組について研修を行いました。

事例として、会計事務の負担軽減のため、市のホームページに誰でも使える計算シートの掲載、市民活動センターや地区市民センターに配置した行政職員による自治会活動支援、また、高齢世帯や一人暮らし自治会員の加入率の維持につながる、高齢者の生活支援の取組「なんでも相談カフェ」の実施、飲食店等のサービス提供施設への提示により、割引や特典などの優待を受けることができる制度として宇都



宮市自治会連合会が運営する自治会パスポート「宮PASS」事業等様々な取組がされています。

また、自治会への支援だけではなく NPO などの各種団体のスタートアップを支援する施設として「宇都宮市まちづくりセンター」を設置し、貸しオフィスの利用や団体同士の情報交換、コラボ事業などが行われています。

この度の研修を通して、自治会加入の促進、自治会活動の活性化、そして、自治会の存続を図るためには、人・お金・情報など様々な形での支援が必要であると感じました。

特に、自治会役員の業務の軽減のためにもデジタル技術の導入は有効であり、取組を進めるべきであると考えます。

また、宇都宮市が行っている、各自治会での様々な取組事例を冊子にまとめて共有を図ることや会計事務の計算シートをホームページに掲載して自治会の会計担当者に活用してもらうことなどは、直ぐに始められる上に効果も大きいことから、非常に参考になりました。

更に、複雑多様な地域コミュニティの課題に対応するには、地縁型の自治会と課題解決型のNPOの連携を促すことが必要であり、その仕組みと拠点づくりも必要になってくるのではないかと思います。

今後、この研修により得た成果を、総務常任委員会の所管事務調査である「地域コミュニティの現状と課題」の調査研究に活かしてまいります。

〈調査項目〉

東京都日野市 「発達教育支援について」
 こども家庭庁 「こども家庭庁の取組とこども政策の概要について」
 埼玉県久喜市 「ICTを活用した教育について」
 千葉県流山市 「子育て支援施策について」
 厚生労働省 「介護人材の不足について」



東京都日野市においては、発達・教育支援センター「エール」について、担当職員より説明を受けました。「エール」は18歳までの発達・行動・学校生活面において、支援を必要とする子ども、不安のある保護者等に対し、発達相談・支援を行う「福祉部門」と就学相談・特別支援教育を行う「教育部門」が福祉と教育の枠を超えて連携し、支援・相談を行っています。何か心配事があれば、まずはエールに連絡をもらい、その後は多様な専門職が心理面や就学面、医師・保健師相談など適切な支援につなぐという流れになっています。また、個別支援計画書（成長記録やサポート内容が1枚にまとめられたカルテ）を作成し、エールと市内幼保、小中学校をシステムでつなぎ、シートを移行支援や引継ぎに活用されていました。市の組織の縦割りをなくし、切れ目のない相談・支援体制の構築と成功につながっている点は非常に参考になりました。

こども家庭庁の取組とこども政策については、こども家庭庁の担当部署の職員を講師に研修を行いました。令和5年4月に発足したこども家庭庁は、こども政策の司令塔としての総合調整、各省庁の縦割りの打破と隙間事案への対応をその役割とし、こどもや子育て中の方の視点を基本姿勢に各種施策を展開しています。令和6年度は、こども未来戦略方針に基づき、子育てに係る経済的支援と若い世代の所得強化、少子化対策、こどもの居場所づくり、安全対策、自殺対策、貧困対策などに重点的に取り組まれるとのことでした。本市においても、こどもと子育て世帯を取りまく課題は多岐にわたります。今後も、全てのこどもが健やかに成長できる社会の実現を目指して調査研究に取り組んでいきます。

埼玉県久喜市では、市内の小学校を訪問しICTを活用した教育について公開授業の見学と担当職員より説明を受けました。久喜市では平成27年から教育のICT化を進め、双方向型のオンライン授業を推進、不登校児童の増加に対応したオンライン分教室の開設など、「学びを止めない」授業を展開しています。IT企業との提携や民間のICT研修を活用するなどハード、ソフト両面で環境整備をされ、これらは、「久喜市版未来の教室」と名付けられ、全国に先駆けた取組と評価されています。当日は7クラスの公開授業を参観し、1～6年生、特別支援

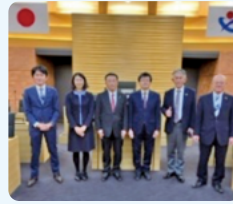
学級まで全ての授業でタブレットを活用されていました。タブレットを文房具のように頻繁に活用する授業形態やコミュニケーション、子どもたちの操作の習熟度には驚きがありました。また、校内の事務、会議などにもICTを活用した効率化を図り、先生の負担軽減、残業削減にも効果を上げており、ICTの活用による好事例を学びました。

千葉県流山市では、子育て支援施策について市担当部局の職員から説明を受けました。流山市は人口増加率6年連続全国1位、転入超過数5年連続1位、また、合計特殊出生率は全国平均を大きく上回るなど、共働きの子育て世代をターゲットに、仕事をしながら子育てしやすいまちづくりを目指す施策は全国的に評価されています。「母になるなら流山市、父になるなら流山市」のスローガンのもと、保育所の新設、増員により令和3年度に待機児童ゼロを達成。駅前送迎保育ステーションによる送迎代行や児童センターの一時預かり、地域子育て支援センターによる交流・相談事業など独自の子育て支援施策は保護者の負担を軽減し、結果、県外の子育て世代からも選ばれるまちとして認識されているものと推察されます。本市においても少子高齢化と人口減少の進展は喫緊の課題であるため、どのようにすれば子育て世代に選ばれるまちとなるかを考えるにあたり、非常に参考となる視察でした。

介護人材の不足については、厚生労働省の担当部署の職員を講師に研修を行いました。本市においても介護人材の不足は大きな課題となっています。ケアプランを作成するケアマネジャーが不足していることや介護施設が建設されてもスタッフの不足により定員まで受け入れることができないなど、各事業所が介護人材の確保に苦慮しています。研修では、今後も要介護者の増加が見込まれる中、2040年度には現在よりさらに約69万人の介護職員が必要だと推計されていました。厚生労働省では、介護職への参入促進として、人材の裾野の拡大、労働環境・処遇の改善、資質の向上・専門性の明確化、介護職の魅力向上、外国人材の受け入れなど、多面からのアプローチにより介護人材の確保を支援していく方針です。介護保険第9期計画の中で検討される国の施策を注視し、本市の介護人材確保に向けて取り組みを検討していきます。

<調査項目>

- 国土交通省 「ローカル鉄道に対する支援について」
 「自家用有償旅客運送制度の概要について」
 埼玉県深谷市 「農業を核とした産業ブランディングについて」
 「花園IC拠点整備プロジェクト」
 岐阜県大垣市 「養老鉄道養老線の事業形態と養老線管理機構」



本市においては、ローカル鉄道及び交通弱者への移動支援が課題となっており、国の制度や国・県等の支援などを学ぶため、国土交通省の担当部署の職員を講師に研修を行いました。

上下分離方式による鉄道の維持管理、運行に関する再構築計画は、国の補助金採択のため、国の承認が必要であるが、国は「計画自体の内容の精査、収支計画などについては積極的に関与していない。ローカル線の存続、廃止、縮小など判断は、地方自治体が行っている状態で、国は補助制度等の枠組みは準備するがジャッジはしない。」という姿勢であります。

また、自家用有償旅客運送制度については、交通空白地の定義が明確でなく、各地方自治体の地域交通協議会に委ねられており、その会議の中で合意が図られれば、自家用有償旅客運送は可能であります。現在、国土交通省の専門委員会では定義が議論されており、近々にまとめられ、公表される見込みであります。また、事業として経済的に成り立つように有償額の引き上げも検討していると説明がありました。

深谷市では、強みである農業を基軸として「儲かる農業都市ふかや」を目指し、観光資源として野菜を活用し、「野菜を楽しめるまちづくり戦略」を策定されていました。多くの人を呼び込む「ベジタブルテーマパークふかや」や農業関連企業や技術革新を得意とする企業を誘致・集積する「アグリテック集積戦略」、そして地域内の経済循環を高め、同時に住民の自助・共助を引き出す「深谷市地域通貨ネギー」について説明がありました。これらの取り組みは、一つの農作物だけに焦点を絞るのではなく、農業施策、地域経済循環、市民のまちづくり活動などを包括的に捉えた戦略的な施策となっています。また、市役所内の企画、事業実施する各部署の連携もよく図られていると感じました。

花園IC拠点整備プロジェクトでは、市が秩父鉄道に新駅の請願を行い、市負担で新駅（ふかや花園）を設置し、プレミアムアウトレットパーク及び深谷テラスへ徒歩3分圏内でアクセスしています。新駅

を設けることで、広大な農業振興地域（青地農地）の除外が可能となり、これらの誘致に成功しています。

また、自動車だけでなく鉄道からのアクセスが得られることは、来訪者の増大が見込め事業者にとって有益であり、市民の利便性にも寄与し、秩父鉄道にとっても乗降客数向上につながっています。まさに、市も含めて四方よしで数あります。こうしたことは、総合計画、国土利用計画、都市計画、農振計画などが多角的、長期的に緻密に練られた戦略であると感じました。

また、中小民鉄（秩父鉄道）の存続、黒字経営化に寄与しており、中小民鉄とまちづくり戦略の成功例と言えます。

養老鉄道では、JR大垣駅がハブ駅となっているため、大垣市が沿線3市4町の幹事市に位置づけられており、管理機構への人的負担や基金管理も司っています。説明の中で、近江鉄道との大きな違いは3点ありました。

1点目は、養老鉄道は親会社であった近畿日本鉄道より、経営安定化基金が拠出され、沿線市町の負担を軽減されています。2点目は、県（岐阜県、三重県）の関与が極めて少ないこと。このことは、双方の県内に同様の他の民鉄がたくさんあることが事情にあるようです。3点目は、沿線7市町の負担割合が均等であることです。人口規模や財政力のある大垣市、桑名市や、人口、財政力の少ない町も、1/7ずつの同額の負担になっています。この沿線市町においては、養老線が廃止になると死活問題で存続の負担は致し方ない状況であります。また、新事業形態に移行後2年間は黒字決算で基金に積み増しをしていたが、コロナ感染後は乗降客数、営業収入は低迷しているようです。昨年より乗降客の回復の傾向が見られますが、黒字決算まではいかない模様であります。苦戦を強いられているように感じました。

以上の視察研修で得られた知見を、市政に活かし、市民の安心安全、質の高い公共サービスの提供に資するよう取り組んで参ります。

夫婦都市市議会議員親善交歓会を行いました

令和5年10月26日～27日に夫婦都市である富士宮市へ訪問し、夫婦都市市議会議員親善交歓会を行いました。富士宮市とは、昭和43年8月に国内でも珍しい夫婦都市の提携を結び、行政・スポーツ・文化等様々な面で交流を行っています。

この親善交歓会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4年ぶりの開催となりました。富士山世界遺産センター等の市内視察研修を行い、交流会では互いの市議会によるアトラクションを行うなど、両市議会議員同士の絆を深めました。



市議会議員紹介 Vol. 3

クローズアップ

市民のみなさんに市議会議員をより身近に感じていただきたいとの思いから、議席番号順に全議員をシリーズで紹介していきます。

まつ むら つとむ 松村 務

- Q①近江八幡市のお気に入りスポットは？ 西の湖、三大城郭、ヴォーリズ建築
Q②自己（あなた）のキャッチフレーズは？ まちづくりの仕掛人
Q③議員になって何をしたいですか？ 市民に関心を持ってもらえる議会と市政
Q④議員に必要なもの3つ？ アイデア、コミュニケーション、スタミナ
Q⑤あなたの熱い思いを一言？ 近江八幡のブランド力アップで輝くまちを！



み かみ ひで お 三上 英夫

- Q①近江八幡市のお気に入りスポットは？ 琵琶湖・比良・比叡のパノラマビューに感動！長命寺北の湖岸道
Q②自己（あなた）のキャッチフレーズは？ 「愚直に生きる」「チャンス・チャレンジ・チェンジ、政治を前へ」
Q③議員になって何をしたいですか？ 次代を担う若者が「愛着と希望」の持てるまちづくり
Q④議員に必要なもの3つ？ 地方自治を学ぶ心、市民目線の観察力、施策提案力
Q⑤あなたの熱い思いを一言？ 教育（今日行く）のミカミ！ 使命感・スピード感をもって頑張ります。



みち した なお き 道下 直樹

- Q①近江八幡市のお気に入りスポットは？ 日吉野の踏切から見る夕焼け
Q②自己（あなた）のキャッチフレーズは？ 全世代が輝ける市へ！近江八幡の未来を創る!!
Q③議員になって何をしたいですか？ こどもまんなか社会の実現!!全国に通用する「近江八幡モデル」をつくりたい。
Q④議員に必要なもの3つ？ 情熱、責任感、判断力
Q⑤あなたの熱い思いを一言？ 近江八幡を滋賀の中心に、日本の中心に、世界の中心にしたい！



編集後記

このたび能登地方を震源とする大規模地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域のみなさまの安全確保、そして一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

私たち地方自治体議会は、“まちづくりの主体は市民”であることを改めて認識し、市民生活を支えるため、安心・安全なまちづくりに努めてまいります。

(広報広聴委員長 辻 正隆)

令和5年第4回(12月)近江八幡市議会定例会に提出された議案と議決結果

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	付託委員会	会派	創政会								政翔会		①	②	③	④	⑤	⑥				
			議決結果	間宮泰樹	藤村健造	三上英夫	道下直樹	南祐輔	大川恒彦	岡田彦士	小西はげむ	久郷定彦	沖茂樹	辻正隆	小川広司	松村務	青木勝治	中塚理恵	山本妙子	森原陽子	玉木弘子	竹尾耕児	山本英夫
12月市議会定例会																							
◇ 予 算																							
議第110号	令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第6号)	予算	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
◇ 条 例																							
議第114号	近江八幡市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第121号	近江八幡市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
◇ 議員提出議案																							
会第16号	ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価を求める意見書の提出について	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

①:育政会 ②:公明党 ③:日本共産党 ④:チームはちまん ⑤:ひむれクラブ ⑥:凛成会
○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 一…議長は採決に加わっていません。

全員一致で承認・可決・同意・採択した議案

議案番号	件名	付託委員会
12月市議会定例会		
◇ 決 算		
議第80号	令和4年度近江八幡市一般会計決算の認定を求めることについて	決算
◇ 専決処分		
議第109号	専決処分の承認を求めることについて 和解及び損害賠償の額を定めることについて	総務
◇ 予 算		
議第111号	令和5年度近江八幡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)	教育厚生
議第112号	令和5年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	教育厚生
議第113号	令和5年度近江八幡市病院事業会計補正予算(第2号)	総務
議第131号	令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第7号)	予算
◇ 条 例		
議第115号	近江八幡市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第116号	近江八幡市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第117号	近江八幡市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第118号	近江八幡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第119号	近江八幡市沖之島漁港の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第120号	近江八幡市観光駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第122号	子ども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	教育厚生
議第130号	近江八幡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第132号	近江八幡市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
◇ そ の 他		
議第123号	財産を取得することにつき議決を求めることについて	産業建設
議第124号	財産を取得することにつき議決を求めることについて	総務
議第125号	公の施設の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	総務
議第126号	公の施設の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	教育厚生
議第127号	公の施設の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	産業建設
議第128号	公の施設の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	産業建設
議第129号	公の施設の指定管理者の指定期間の変更につき議決を求めることについて	産業建設
◇ 人 事		
議第133号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	省略
議第134号	馬淵財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第135号	牧財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
◇ 議員提出議案		
会第17号	地方公務員給与の地域手当見直しに関する意見書の提出について	省略
会第18号	浄化槽設置整備事業にかかる補助制度の見直しを求める意見書の提出について	省略
会第19号	浄化槽設置整備事業にかかる補助制度の見直しを求める意見書の提出について	省略

付託委員会欄の「決算」は決算特別委員会、「予算」は予算常任委員会、「総務」は総務常任委員会、「教育厚生」は教育厚生常任委員会、「産業建設」は産業建設常任委員会です。

3月定例会のご案内 令和6年第1回(3月)市議会定例会は、次のような日程で予定しています。それ以外の日は、休会の予定です。

開会日	質問日	委員会	閉会日
2月15日(木)	2月26日(月)、27日(火) 3月5日(火)、7日(木)、8日(金)、	3月11日(月)、12日(火)、13日(水)、 14日(木)、15日(金)、18日(月)、19日(火)	3月22日(金)

皆さまからの議会運営に関するご意見を、メールまたは文書にて、議会事務局までお寄せください。

〒523-8501 近江八幡市桜宮町236番地 Eメール: 020200@city.omihachiman.lg.jp FAX: 0748-36-7101



●インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
●印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷